

ねずみの すもう

ねずみの すもう

(日本の むかしばなし)

むかし、山の ふもとに、おじいさんと おばあさんが
すんで いました。

ある 日、おじいさんが 山へ いくと、二ひきの
ねずみが すもうを とって いました。
一ひきは、ころころ ふとった ねずみ。もう
一ひきは、おじいさんの いえに すむ やせた
ねずみでした。

やせた ねずみは、なんども なげとばされて
しまいます。

かわいそうに おもった おじいさんと
おばあさんは、おもちを ついて、ねずみの あなの
まえに そっと おいて やりました。

つぎの 日、おもちを たべた やせた ねずみは
ちからが 出て、ふとった ねずみに
まけませんでした。

① すもうを とって いた ねずみは、なんびきですか。



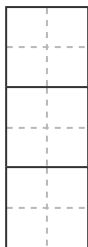
ひき

② なんども なげとばされて いたのは、どちらの ねずみですか。

ア ふとった ねずみ

イ やせた ねずみ

③ おじいさんと おばあさんは、なにを つきましたか。



④ やせた ねずみが まけなく なったのは どうしてですか。

ア おもちを たべて ちからが 出たから。

イ ふとった ねずみが ねて いたから。

ウ おじいさんが てつだったから。